



## 平成28年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アルバイトタイムス

コード番号 2341 URL <http://www.atimes.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 垣内 康晴

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 堀田 欣弘

TEL 03-3254-2501

四半期報告書提出予定日 平成27年7月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年2月期第1四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第1四半期	1,298	8.2	220	△23.6	222	△22.5	152	△34.5
27年2月期第1四半期	1,201	10.1	288	16.2	287	16.1	233	11.7

(注) 包括利益 28年2月期第1四半期 146百万円 (△36.9%) 27年2月期第1四半期 233百万円 (11.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第1四半期	5.38	—
27年2月期第1四半期	8.02	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年2月期第1四半期	4,916	4,218	85.7	150.44
27年2月期	5,159	4,465	86.6	156.71

(参考) 自己資本 28年2月期第1四半期 4,214百万円 27年2月期 4,465百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年2月期	—	—	—	—	—
28年2月期(予想)	—	0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,621	13.8	421	△11.2	418	△11.2	343	△19.0	12.36
通期	5,417	11.9	1,000	4.8	997	4.2	804	△6.1	28.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期1Q	33,637,249 株	27年2月期	33,637,249 株
② 期末自己株式数	28年2月期1Q	5,624,056 株	27年2月期	5,144,056 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期1Q	28,372,759 株	27年2月期1Q	29,022,758 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和の継続による円安・株高傾向を背景に、企業収益の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税増税による個人消費への影響の長期化や円安に伴う物価上昇など持ち直しの動きに遅れが見られ、先行き不透明な状況が続いております。

雇用情勢については企業収益の改善が続く中で採用意欲の回復傾向は継続しておりますが、当社の戦略地域である静岡県においては平成27年5月度の有効求人倍率は1.15倍となっており、前年同月比では0.09ポイント上昇しているものの本年に入り横ばいの状況が続いております。

このような状況において当社グループでは、魅力ある情報サービスを開発・展開し、商品力・販売力を強化することで地域の競争力強化と収益基盤の拡大を図ることに注力しました。

当社主力事業である求人情報事業では、人員等の増員により営業力の強化を図り、地域競争力の強化に努めました。また、紙媒体(『DOMO(ドモ)』・『求人あどむ』)、ネットサービス(『DOMO NET(ドモネット)』・『JOB(ジョブ)』・『TSUNORU(ツノル)』)、リアルイベント(『シゴトフェア』)、人材紹介等多様な商品ラインナップを揃え、お客様の様々な求人ニーズに応えるべく人材サービスの拡大・拡充に努めました。

SP商品であるペット関連情報誌『WONDERFUL STYLE(ワンダフルスタイル)』においては、前連結会計年度に引続き『DOG(ドッグ)！フェスタ』を静岡県内東部地区で継続開催することで、商品との融合性を深め、収益基盤の拡大に取り組みました。

当第1四半期連結累計期間より開始しました外国人採用支援事業では、日本国内のミャンマー人を対象にした人材マッチングイベント『ミャンマーJobFair(ジョブフェア)』を平成27年5月に開催いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高は1,298百万円(前年同四半期比8.2%増)となりました。売上原価は、389百万円(前年同四半期比19.0%増)、販売費及び一般管理費は、688百万円(前年同四半期比17.8%増)となりました。前連結会計年度に取得した子会社や販促支援事業の増収があったものの、営業力強化のための人件費等や当該子会社に係る費用が増加したため営業利益は220百万円(前年同四半期比23.6%減)、経常利益は222百万円(前年同四半期比22.5%減)、四半期純利益は152百万円(前年同四半期比34.5%減)となりました。

セグメント別の業績(セグメント間の内部取引消去前)を示すと、次のとおりであります。

#### (情報提供事業)

情報提供事業では、既存商品である『DOMO』、『DOMO NET』及び『JOB』の販売は横ばいに推移したものの、前連結会計年度に取得した子会社が発行する合同求人チラシ『求人あどむ』の販売が寄与し、売上高は1,053百万円(前年同四半期比5.3%増)、セグメント利益は346百万円(前年同四半期比19.9%減)となりました。

#### (販促支援事業)

販促支援事業では、主たる売上であるフリーペーパーの取次において既存顧客における掲出量の増加傾向は継続しており、販売は好調に推移いたしました。また、関西以西への販路拡大による販売増加、ダイレクトプロモーションにおける顧客獲得が順調に進んだことも寄与し、販促支援事業における売上高は254百万円(前年同四半期比22.7%増)、セグメント利益は44百万円(前年同四半期比33.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が4,916百万円(前連結会計年度末比4.7%減)、負債が698百万円(前連結会計年度末比0.7%増)、純資産が4,218百万円(前連結会計年度末比5.5%減)となりました。また、自己資本比率は85.7%となりました。

資産の部では、流動資産が4,049百万円(前連結会計年度末比5.6%減)となりました。内訳として、現金及び預金が3,016百万円(前連結会計年度末比7.7%減)、営業債権(受取手形及び売掛金)が593百万円(前連結会計年度末比5.0%減)等となったためです。

固定資産は867百万円(前連結会計年度末比0.5%減)となりました。内訳として、有形固定資産が624百万円(前

連結会計年度末比0.2%減)、無形固定資産が73百万円(前連結会計年度末比7.5%減)、投資その他の資産が168百万円(前連結会計年度末比1.7%増)となったためです。

負債は698百万円(前連結会計年度末比0.7%増)となりました。これは、未払金が463百万円(前連結会計年度末比22.9%増)、賞与引当金が53百万円(前連結会計年度末比43.0%減)等となったためです。

純資産は4,218百万円(前連結会計年度末比5.5%減)となりました。これは、四半期純利益の計上、剰余金の配当により利益剰余金が4,154百万円(前連結会計年度末比2.4%減)、自己株式の取得により自己株式が939百万円(前連結会計年度末は792百万円)となったためです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期業績予想につきましては、平成27年4月14日付「平成27年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表した業績予想を修正いたしません。

なお、今後の業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,266,361	3,016,055
受取手形及び売掛金	625,130	593,603
その他	397,022	440,696
貸倒引当金	△622	△622
流動資産合計	4,287,892	4,049,733
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	158,274	158,877
土地	444,475	444,475
その他(純額)	22,574	20,913
有形固定資産合計	625,324	624,265
無形固定資産		
ソフトウェア	69,289	63,317
その他	10,606	10,606
無形固定資産合計	79,895	73,924
投資その他の資産		
その他	167,888	171,091
貸倒引当金	△1,891	△2,239
投資その他の資産合計	165,997	168,851
固定資産合計	871,216	867,041
資産合計	5,159,108	4,916,775
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	377,241	463,587
賞与引当金	93,272	53,156
その他	222,230	181,415
流動負債合計	692,744	698,159
固定負債		
繰延税金負債	1,083	474
固定負債合計	1,083	474
負債合計	693,827	698,633
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	455,997	455,997
資本剰余金	540,425	540,425
利益剰余金	4,258,203	4,154,433
自己株式	△792,505	△939,676
株主資本合計	4,462,121	4,211,179
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,159	3,159
為替換算調整勘定	—	52
その他の包括利益累計額合計	3,159	3,212
少数株主持分	—	3,749
純資産合計	4,465,281	4,218,141
負債純資産合計	5,159,108	4,916,775

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
売上高	1,201,000	1,298,914
売上原価	327,791	389,976
売上総利益	873,208	908,937
販売費及び一般管理費	584,952	688,796
営業利益	288,256	220,141
営業外収益		
受取利息	92	105
受取賃貸料	212	210
為替差益	—	665
その他	171	2,098
営業外収益合計	475	3,079
営業外費用		
自己株式取得費用	400	500
その他	814	6
営業外費用合計	1,214	506
経常利益	287,518	222,715
税金等調整前四半期純利益	287,518	222,715
法人税、住民税及び事業税	16,823	19,748
法人税等調整額	37,686	56,057
法人税等合計	54,509	75,806
少数株主損益調整前四半期純利益	233,008	146,908
少数株主損失(△)	—	△5,759
四半期純利益	233,008	152,668

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	233,008	146,908
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	87
その他の包括利益合計	—	87
四半期包括利益	233,008	146,996
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	233,008	152,721
少数株主に係る包括利益	—	△5,724



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結会計期間において、平成27年4月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結会計期間において、自己株式が147,171千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において939,676千円となっております。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	999,966	201,033	1,201,000	—	1,201,000
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50	6,693	6,743	△6,743	—
計	1,000,016	207,726	1,207,743	△6,743	1,201,000
セグメント利益	432,318	33,139	465,457	△177,201	288,256

(注) 1. セグメント利益の調整額△177,201千円は、セグメント間取引消去1,110千円及び全社費用△178,311千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年5月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報提供	販促支援	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,053,102	245,811	1,298,914	—	1,298,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	68	9,097	9,165	△9,165	—
計	1,053,170	254,908	1,308,079	△9,165	1,298,914
セグメント利益	346,413	44,314	390,728	△170,586	220,141

(注) 1. セグメント利益の調整額△170,586千円は、セグメント間取引消去1,410千円及び全社費用△171,996千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。